



自分たちの手でまちづくり、それが「コミ協」です

小学校区を基本とし、自治会を中心に、PTA、青少年育成協議会、民生・児童委員協議会など地域の様々な団体が構成されています。

この広報誌は新潟市地域活動補助金で発行しています。

発行 横越コミュニティ協議会
事務所 新潟市江南区横越中央1丁目1番2号
(老人福祉センター横雲荘内)
電話 025-385-4321

回覧

卒業 おめでとう

ハッピーコサージュプロジェクト



4月 6年生 チューリップ花摘み



6年生 コサージュ布染め



布染めは地域ボランティアの皆さんが教えてくれます。



令和3年度 横越小学校卒業生
渡部 菜月

コサージュ作りで一番大変だった作業は、さく酸に漬け込む作業です。においが強烈で続けるのが大変でした。でもやりがいがありました。

そしてもう一つコサージュを縫う作業が苦戦しました。最初の縫ってしぼるところが大変でした。お母さんやみんなはどんどん進んでいてすごいなと思いました。花の形を整える作業は、楽しかったけれど、好きな形にするのは時間がかかりました。やっといい形が出来ました。

このコサージュをつけて卒業するのが楽しみです。苦勞して作ったコサージュは、良い思い出として、ずっと大切に残しておきたいです。



令和3年度 横越小学校6年生担任
村川 俊介

今年度、六年生の担任をさせていただき、「チューリップのコサージュ作り」に初めて参加しました。

子どもたちと出会って間もない四月に「花摘み」を行いました。それから、「かくはん」作業や「布こし」作業など、多くの行程を一緒に行ってきました。「染め付け」の時には、保護者の方に手伝ってもらいながら、一枚一枚丁寧に色を染みこませていきました。多くの作業をやっていく内に、それぞれの行程の意味が分かり、完成が楽しみになりました。最後の「親子コサージュ作り」では、きれいな黄色の布を親子で協力しながら、コサージュにしていく様子はとても素敵でした。

卒業式に子どもたちの胸元に手作りのコサージュが輝いているのが今から楽しみです。

コサージュづくりを支えてくれた **先生・地域のみなさまありがとうございました**



活動報告

令和3年度

横越コミ協最重点事業

ハッピーコサージュプロジェクトとは

横越小学校の児童、先生方、保護者、地域が協働でチューリップの栽培を行い、花びらを集めて絹の生地を黄色く染めてコサージュを作り、3月の卒業式で胸に付けて出席します。

この活動は約30年前に、当時地域活動に尽力していた保護者の皆様が主体となり始めた活動です。

当時6年生だった児童達の中には、ご自身のお子さんと一緒にこのコサージュを作る方もいらっしゃると思います。

現在は伝統あるこのプロジェクトを横越コミュニティ協議会が受け継ぎ、活動を通して地域の繋がりを深め、地元横越への愛着や感謝の気持ちを育ててもらおうと共に、協力して地域活動を継続する仕組みづくりを目的としています。



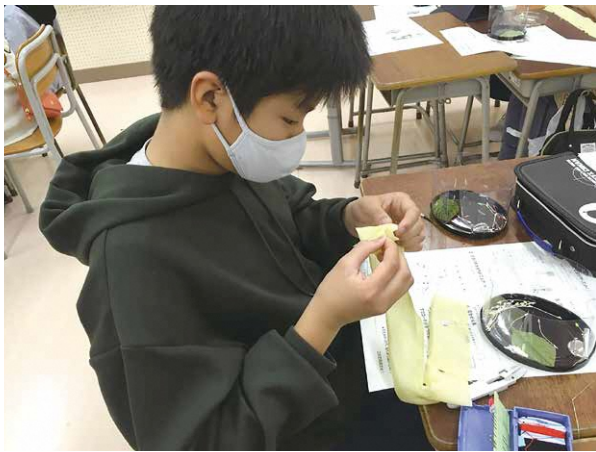
コサージュ作り

令和3年度横越小学校卒業生 山本 風璃

5年生から球根を植えて育てたチューリップでコサージュを作りました。

布染めるときは臭かったけれど、みんなと交代でやりました。11月にお母さんと作りました。お母さんが「器用だね。」と話しかけてきたけど、僕は集中して黙々と作りました。僕はお母さんと一緒にこのコサージュをつけて卒業式にです。

中学校に行ったら勉強を頑張ります。コサージュ作りに協力してくれた先生方、保護者の皆さん、地域ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。



ハッピーコサージュプロジェクト

令和3年度横越小学校卒業生保護者 山本 美幸

このイベントは卒業式にむけて行う恒例行事、私は2回目の参加となります。現在中2の長男とこの春に小学校を卒業する次男のコサージュです。親子おそろいで卒業式でつけるもので、とてもうれしく思います。

チューリップの淡い黄色に染められた絹の生地でかわいいコサージュを「ここを縫って、こっやって引く張って」わかっているよ！母ちゃん」といながら完成させました。小さかった次男も学生服を着ると一気に大人びて見えます。特に下の子はいつまでも小さいと思っています。

横越に育つわが子をはじめみんなが横越で大人になり、このプロジェクトや地域の活動に参加できやすいように微力ではありますがお手伝いさせていただきます。



11月 6年生親子でコサージュづくり

10/9(土)

地下道清掃に参加して

横越中学校 校長 齋藤 雅敏

横越中学校に着任して三年目、ピカピカ大作戦参加も三度目となりました。この活動は、横越小学校児童の「街灯が汚いから綺麗にしたい」との言葉がきっかけとなり始まったと聞いています。

私は三度とも地下道清掃の担当でした。毎日ここを通る児童生徒を想いながら、蜘蛛の巣や汚れを落としました。普段は話す機会のない地域の方々や横越小学校の児童と共に汗を流す良い機会となりました。

数日後の夕方、勤務終了後の疲れた眼に、横雲通りのピカピカになった街灯の暖かく優しい光が、心地よく映りました。次回こそ是非、街灯清掃を担当してみたいと思います。



セブンイレブン前の地下道を清掃。



横雲通りにある街灯を清掃。

10/9(土)

街灯清掃に参加して

横越ライオンズクラブ会長 谷井 豊

去年に引き続き、横越ライオンズクラブは街灯清掃に参加しました。思っていたよりも参加者が多く、地域で続いてきた活動だなと思いました。

ライオンズからも多くのメンバーが参加してくれました。実際に街灯を磨く人や交通整理してくれたメンバーと役割を決めて実施しました。

2年前にコミ協からお声かけ頂き参加してきました。横雲通りの街灯は知っていましたが、いざ清掃してみるとかなり傷んでいました。

ライオンズクラブとしてこれからも横越の美化活動に参加してまいります。そして横雲通りを綺麗に照らしてくれる街灯をこれからも大事にしていきたいと思います。

11/17(水)

横越地区防災講座

横越コミュニティ協議会
安心安全部会 防災士 本間 儀徳

公民館防災講座「救命処置」講習より、「意識不明で倒れている傷病者」を発見した場合、なぜ1分1秒でも早く速やかな救命処置を実施しなければならぬのでしょうか？意識不明になると、10秒以内で心肺停止状態になり、心臓が動いていないとしても有効な血液が脳に送られなくなり、脳に意識を消失し、3分から5分で脳の神経細胞は死に至ります。神経細胞は再生しない為、脳に不可逆的な損傷が残ることになります。救命処置の開始が遅れるにつれて、命を助けることは急速に困難となります。1分どころか1秒でも早い応急手当の開始が重要です。まず必要なことはすぐに119番通報することであり、救急隊到着までの間、心肺蘇生法(胸骨圧迫とAEDによる救命処置)を絶え間なく継続することが、大切な命を救うことに繋がります。勇気をもって救命のリレーの第1歩を踏み出してください。



左から
渋谷防災士、小野塚防災士、宇野防災士、近防災士(亀田地区)、本間防災士。



心肺蘇生法を教える本間防災士。

横越コミ協では 防災士が5名います

(内、応急手当普及委員3名)

自治会町内会等での防災訓練等にもぜひご協力させてください。

【防災士】

- 山本 卓也(横越上町)
- 小野塚 智恵子(木津)
- 宇野 耕哉(木津)
- 本間 儀徳(横越川根町)
- 渋谷 義裕(二本木)



令和4年度からコミュニティ・スクールが始まります

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)



令和4年〇月〇日

これは学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子ども達の豊かな成長を支え「地域と共にある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。(文部科学省HPより一部抜粋)

横越地区は小学校と中学校が合同でコミュニティ・スクールを立ち上げ、この度、当コミ協会長 佐藤正明も委員に任命され、横越コミ協も学校運営に協力していきます。他にも地域の有識者の方などが委員として構成されています。

保護者の皆様や地域の皆様からのご協力をよろしくお願いいたします。



横越小学校
校長 戸田道治

令和4年4月から、横越小と横越中は、合同のコミュニティ・スクールとなります。コミュニティ・スクールの目的は、『全国どこにでもある学校』ではなく、『横越ならではの、横越にしかない学校』づくりです。ですから、地域の人材・地域の素材をフルに活用して子どもたちに直接触れ合わせることが必要となります。

これからは、学校が単独で教育目標や教育活動を定めるのではなく、地域の方からも参画意識を持って関わっていただきながら進めることになります。

横越地域が描いている夢が学校教育と一体化され、子ども自身が横越に夢を描きながら育ち、横越を担う人材になることを目指します。



令和3年度横越小学校PTA
会長 宇野耕哉

いよいよ今年の4月よりコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)が始まります。

地域住民が学校運営に参加することにより、今までは間接的にしか伝えることができなかった課題を教職員の皆さんとともに情報共有し、問題解決を図ることができるようになります。

また、学校側も校内での現状を知ってもらう機会が増えることで、相互理解を深めることができるという点は本制度の大きなメリットとっております。

変わらないことが一番を信条としている学校も多いと聞きますが、変わらないのは逆にリスクそのものです。本制度の充実で、時代にあった環境改善が図られることを期待しております。

日直

おうちんたろう
コミュニティはな

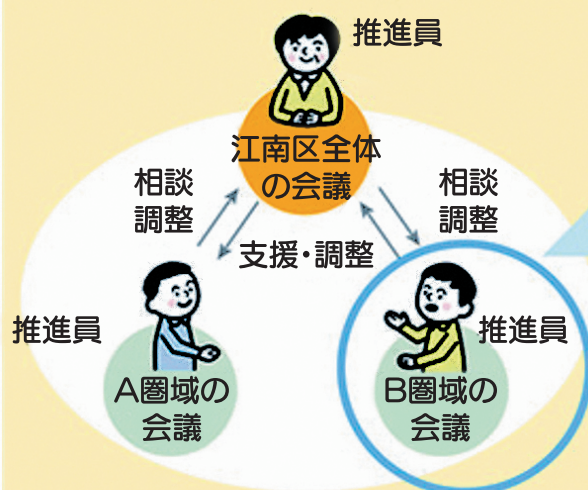
大江山・横越圏域

支え合いのしくみづくり

新潟市内では、地域において支え合いのしくみづくりの取り組みを進めています。横越においても、横越コミュニティ協議会をはじめ、自治会や民生委員児童委員、老人クラブ等多くの団体と協力して、“誰もが住みやすい横越地域”を目指し取り組んでいます。

今回は、横越地域で活発に取り組んでいる活動を3つご紹介いたします。

支え合いのしくみづくり推進員



01 助け合いの体験授業

横越中学校の1学年(計110名)を対象に、支え合いのしくみづくりの授業を実施しました。平成30年度から毎年中学1年生を対象に実施し、今回で4回目となります。今回は、生徒自身が助け合う楽しさや難しさを体験できる「助け合いのカードゲーム」を実施しました。



支え合いのしくみ作りを振り返って

横越中学校1年3組 梅本 陽太郎

僕はこの授業を通して、人に何かを聴いて、人に何かを頼んだり、それを引き受けたりするということがとても難しいということがわかりました。

授業が始まる前まで、僕は「そんなこと簡単だろう」と思っていました。ですが、いざ実際に活動してみると、うまくはなせなかったり、声が小さくなってしまったりしてしまい、「本当は難しいことなんだなあ」と思うようになりました。

この経験を踏まえて、これからは勇気を出して人に何かを頼むのはもちろん、誰かから何かを頼まれたら「いいよ」と快く言える人になりたいです。

大江山横越支え合いのしくみづくり構成員 坪谷 さゆり

「自助」「公助」は案外声を上げやすいことかもしれません。ところが「共助」となると、互いに気を使ってしまい、難しい事になっている気がします。今回私が参加したカードゲームは「共助」のきっかけになったように思いました。

事前に用意されたカードの中から「できそうな事」「してほしい事」を選び、グループ内でやり取りしました。2巡目くらいには白紙のカードに「新しい家を建てたい」など出ていました。すぐに出来そうな事、すぐには大変そうな事を言葉に出したり、書いたりすることによって一歩先に進めると感じました。

グループ内の感想で、「意外と日常的な事だね」「難しい事じゃないかもね」と声があがっていました。私も同感です。

支え合いのしくみづくり会議



買い物に行けなくて、困っている人が地域に多くいます
どうしましょうか?

除雪やごみ出で困っている人も
いるようだね

どんな人の協力があれば解決できるかな?
商店街やスーパーの人に相談してみようかな?

会議の構成員例

推進員、地域コミュニティ協議会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、区、ほか

02 二本木自治会と連携した見守り活動

二本木自治会と地域の見守り活動について相談し、全世帯に見守りチェックシートを配布しました。これは自治会単位で見守りの気付きを持ち、地域全体で意識を高めて、ひとり暮らし高齢者等に異変が生じた場合は、自治会関係者へ連絡が入るしくみづくりになります。

この取り組みは、昨年度は木津自治会でも実施し、徐々に広がっています。



03 横越川根町地域の“雪かきボランティア”の取り組み

平成30年度より横越川根町自治会や民生委員児童委員と連携し、“雪かきボランティア”の組織づくりを行ってきました。

今年度は上記の関係団体に加え、横越地区コミュニティ協議会からも協力を得ながら、体制づくりの強化を図っています。

地域のみなさんのお力をお借りしながら、取り組みを進めていきたいと考えています。

横越コミ協からはこの二人が構成員として参加しています。

困りごとは遠慮なく相談してください



横越コミュニティ協議会
会長 佐藤正明



横越コミ協委員
山本美幸
(NPO法人えんでは理事長)

支え合いのしくみづくりって?

地域での支え合い活動を進めるために「支え合いのしくみづくり推進員」を江南区全体と上記3つの中学校区(圏域)ごとに配置しています。

推進員や区と区社会福祉協議会などが連携して、地域の取り組みを支援しているほか、さまざまな団体が構成する「支え合いのしくみづくり会議」を開催しています。

横越地域と共につくる “支え合いのしくみづくり”

平成29年度から新潟市内の各地域で支え合いのしくみづくりがはじまりました。

「困ったときはお互い様」と言い合える地域を目指し、関係団体と共に取り組んでいます。

気軽に集まれるお茶の間を立ち上げたい、雪かきやゴミ出し等の助け合い団体を立ち上げたい、そんな地域の支え合いのしくみづくりをお手伝いします!

地域のみなさんと一緒に“あったらいいな!”を形にしませんか?お気軽にご連絡ください。

大江山・横越圏域 支え合いのしくみづくり

〒950-0105
新潟市江南区大洲715-1
特別養護老人ホームいなほの郷内

TEL 025-278-5515
FAX 025-276-0018



推進員
樋口大輔



親子でコサージュを作っ

令和3年度
横越小学校卒業生保護者
渡部 直子

このコサージュ作りは、お兄ちゃんの時も参加させてもらっていましたので、今回が2回目になります。

いつも一緒だった小さい頃と比べ、成長するにつれて、一緒に何かを作るといふ機会が少なくなっていたので、頭を突き合わせて、ああでもない、こつでもないと言いつつ、「ちよつと変かも」と笑い合つ時間は、とても楽しかったです。

このコサージュは、チューリップの球根植えから始まり、子どもと先生方や地域のボランティアの方々、保護者が協力して、コサージュが出来上がります。この素晴らしいつながりに感謝をしながら、子どもと一緒に卒業式を迎えたいと思います。

協力してやりとげた球根植え

横越小学校5年 内山百々花

チューリップの球根を植えてみて、私は最初かんたんだと思っていました。やってみるとすごくむずかしかったです。特に球根をちゃんと植えるのがむずかしかったです。ていねいに土をかかせていかないと球根が出てきて育たなくなるのでいっしょけんめいていねいに植えました。やっていくうちにだんだん楽しくなつて植えるスピードも早くスムーズになりました。

協力面では3人で役割を分担してやりました。1人が土をかかせる役割。もう2人は球根を土にうえました。3人でやってみてすぐたのしかったです。コサージュ作りがとても楽しみです。



11月 5年生チューリップ球根植え

横越商学工大祭

12/7(火)
横越小学校 校長 戸田道治

多くの方々の御協力で、十二月七日、「横越商学工大祭」を開催することができました。これは、感染禍により二年連続中止となった商工大祭を惜しむ子どもたちのために行われたものです。

校長として、このお祭りのねらいは、「子どもの成長のために協力する大人の力」を感じ取らせることでした。

当日の子どもたちの満足顔から、ねらいを十分達成したことを実感しました。そし



江南区親善大使のバネルで記念撮影



わたがしコーナーはえんではよこごしさん



射的コーナーは大賑わい



ポップコーンコーナーは保護者ボランティアのみなさん

それ以上に、我々教員は、横越の力を実感することができました。きっと子どもたちが大人になった時、これを手本として力を発揮する人になつてくれることと思います。今回御協力くださった全ての方々に感謝申し上げます。



当コミ協も出店のお店番で参加しました。



みんな楽しそうで良かったね!

[編集後記]



横越コミュニティ協議会 事務局長
山本卓也(えんでばよこごし)

平成31年3月発行第26号からコミ協だよりを担当しています。

私はデザインを一新して楽しくて賑やかな広報誌を心掛け、写真を増やし、事業を通じてコミ協と地域の繋がりを感ずることのできる紙面を作ってきました。これまで原稿を快く寄稿して下さった方々、そして子供達、本当にありがとうございます。コロナ禍で活動しにくい日々が続きますが、コミ協として地域の見守りや安心安全な横越を作っていきます。

またコミ協が毎年餅つき大会を開催している「交流拠点えんでばよこごし」で、こどもの居場所「ここらよ」がオープンしました。横越の子ども達の見守り拠点としてコミ協も協力していきますので、よろしくお願いたします。「横越コミュニティ協議会」と検索すると過去のコミ協だよりが閲覧できます。

横越コミュニティ協議会

子どもの居場所が
できました
ここらよ



「ここらよ」にて。

よこごし安心安全見守り事業

この度、横越小学校及び横越中学校の全児童、全生徒に防犯ホイッスルを配布させて頂きました。これは不審者に遭遇し危険だと感じた時や、災害などで閉じ込められた時などにも使います。

声を出すより笛を吹く方が体力を使わずに温存できるための有効な手段とされています。「助けて!」と声が出せない時は遠慮なく吹いてください。



横越中学校生徒会長 今井君(左)ハホイッスルを寄贈する佐藤会長(右)



困ったときは
遠慮なく吹くのじゃ!



事業報告 令和3年度



安心安全委託事業

令和3年度は、前年度設置したガスボンベ式発電機を増台しました。災害時に供給不足になる事が考えられるガソリン式だけでなく、備蓄したガスボンベで使用できる発電機です。他にもガソリン式発電機、ハロゲンライトなどを当コミ協事務所に格納しています。学校での防災訓練や自治会町内会の防災訓練などお使いください。



ハロゲンライト6台



ガソリン発電機15台



ガスボンベ式発電機4台

■貸し出し連絡先
TEL090-3089-0177
横越コミ協事務局 山本

※よこごしコミ協だよりをご要望の方は、横越コミュニティ協議会事務局まで取りに来てください。

昨年に引き続き、発電機や防災用具など台数を増やし防災研修会なども行っております。積雪も多くな
く野原には草の芽も出始めて春の気配を感じます。
コミ協では地
域課題の解決に
向けて活動して
まいりますので、
皆様方のご理解
とご協力をよろ
しくお願いた
します。



12月7日 横越商学工大祭にて。
ボン菓子を担当しました。
会長(左)と完成のボンを担当した5年生(右)



横越コミュニティ協議会

会長 佐藤 正明

続! 続! コロナ

